



ラグビーW杯日本代表選手が上野小学校を訪問

全国から集まったノートや筆記用具などの学用品を届ける「台風19号に伴う被災地支援【絆】プロジェクト」（主催：県水戸生涯学習センター）として、ラグビーワールドカップ日本代表の田中中央朗選手と松田力也選手が11月5日、上野小学校を訪問しました。ラグビーワールドカップをテレビで視聴していた児童も多く、選手が体育館に入場すると歓声があがり拍手で選手たちを迎えました。

学用品を手渡した後、2人の選手はリラックスした様子で児童たちに語りかけ、質問などに気軽に応じていました。

グラウンドに移動後は、選手たちがラグビーボールを使ってパスやキックなどの一流の技術を披露しました。児童たちもラグビーボールを使ってゲームを楽しみました。

児童代表の藤田拓弥さんは「これからは困っている人を助けたい」とお礼の言葉を述べました。田中選手は「みんなにはたくさんの仲間がいるので、笑顔で頑張ってください」と話し、松田選手は「元気をあげようと思って来たけど、僕の方がみんなに元気をもらいました」と話していました。

主な内容

- P2～3 南郷道が歴史の道百選に選定
- P4～5 いきいき茨城ゆめ国体出場選手
- P6～7 新しい民生委員・児童委員の皆さん
- P8～10 令和元年度上半期の財政状況
- P11～15 まちのできごと

